

2006

平成18年

No.12

1

広報

おおぞら



## 帯江橋の紅葉

深まる河辺の秋の風情。季節は冬へと変わっていきます。

- ☆新大洲市誕生記念式典 ..... P4
- ☆保育所の入所申請 ..... P6
- ☆受賞者の紹介 ..... P8
- ☆市財政状況の報告 ..... P10~11
- ☆第40回長浜駅伝競走大会 ..... P14

# ごあいさつ



大洲市長  
大森 隆雄

## これからの輝かしい郷土の創造

市民の皆様、新年あけましておめでと  
ごぞいませ。

輝かしい新年を、希望に胸ときめかせて  
お迎えのこと、また、新「大洲市」が誕生  
して初めての新年を、市民の皆さまと共に  
祝うことができ、心からお慶び  
申し上げます。

早いもので、昨年1月11日に新しい大洲  
市が発足し、その市政の舵取り役を私が引  
き受けまして、2年目を迎えるようとしてお  
ります。

そのような中、我々地方を取り巻く状況  
は、平成5年に行われた衆・参両院の「地  
方分権の推進に関する決議」から始まった「地  
方分権改革、また三位一体改革の歩み」が、  
今、ゆるぎない大きな流れとなり、時代の  
ニーズに適合した、新たな課題に果敢に取  
り組むことが必要不可欠となつてまいりま  
した。

しかしながら、国・地方を通じて非常に  
厳しい財政状況の中で、本市におきまして  
も、長引く景気の低迷による市税収入の減  
少に加え、社会福祉費を中心とした扶助費  
などの義務的経費は増加し、一段と厳しい  
状況下にあります。

このため、新しい大洲市のまちづくりを、  
的確かつ適正に遂行していくための指針と  
して、市民の皆様方からお寄せいただいた、  
約1万1千人の「声」を踏まえ、「大洲市  
総合計画」の策定を進めておりますが、計  
画書のみならず、これからの輝かしい「郷  
土」の創造には、行政と市民がいかに協  
力・連携ができるかに懸かっていると見え  
ます。

つまり、市民の皆さまの大洲市に対する  
限りない愛情と、住みよいまちづくりへの  
情熱が、本市の発展を約束するものであり  
ます。私も微力ではありますが、市議会議  
員をはじめ関係各位の皆さまとともに、誠  
心誠意、最大限の努力を払ってまいりたい  
と考えております。今後とも、一層のご支  
援・ご鞭撻をお願いいたします。  
ついでに、今年一年が市民の皆さまにと  
って、素晴しい一年となりますことを願っ  
て年頭のあいさつといたします。



# 新年の



大洲市議会議長  
清水 久二博

## 新たな時代への対応を

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに初春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

昨年1月11日に新「大洲市」として船出をいたしました、早くも一年が経ちました。合併後のまちづくりにおいて一番肝要な事は、地域間の垣根を一日も早く取り払うことですが、幸いにも合併しました四市町村は古来より肱川の流れて繋がっておりまして、その人情や風情が相通じ、社会・経済・生活などのあらゆる面において、密接不可分な関係にあったのであります。

この間、市議会におきましては議員在任特例期間などの問題で、市民の皆様にも多大なご心配やご迷惑をおかけ致しましたが、10月2日に実施されました市議会議員選挙では、激戦の中、新人議員も多数誕生しまして、議会にも新しい熱い風が吹いているところがあります。

県下で70を数えた自治体が20の市町に再編されるなど、地域の枠組みが大きく変わり、新たな時代への臨機応変な対応が求められる今日、新市の調和ある発展と開かれた議会運営のために全力を尽くす所存でありますので、市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

大洲市の目覚ましい躍進と、市民の皆様のご多幸、ご健勝を心から祈念いたしました。新年のごあいさつといたします。

